

# まちづくり基本構想 重点戦略作業部会での議論の経過

市長協議

第1、2回重点戦略 作業部会

第3回重点戦略 作業部会

分科会

第4回重点戦略 作業部会

※ 重点戦略の方向性を確認

※ 第1、2回作業部会で重点戦略の位置付けを確認

※ 第3回作業部会で分科会の設置、協議実施

※ 分科会ごとの協議を実施

※ 第4回作業部会で作業部会案の確認

重点戦略の設定(経済活性化・人材育成・都市機能向上)

重点戦略作業部会の設置(20課20名)

経済活性化 分科会	将来のまちのすがた (キーワード記載)	作業部会や全庁から提出された論点(抜粋)
	<p>ア 域内循環の理念の共有と推進</p> <p>イ 活気ある観光のまち・釧路の実現 外から稼ぐ力の強化</p> <p>ウ 域内の連関力の強化</p> <p>※ 下線については、分科会等での議論により追加されたもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然資源の活用</li> <li>・地場産品の振興と販路拡大</li> <li>・地元産材の利用促進と消費拡大</li> <li>・地産地消や域内循環の推進</li> <li>・魚食普及の推進</li> <li>・水産業の高付加価値化</li> <li>・地域ブランドの確立</li> <li>・石炭等のエネルギー利活用</li> <li>・交流人口の拡大</li> <li>・長期滞在と移住者の拡大</li> <li>・インバウンドの拡大</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源の活用</li> <li>・観光産業における地域への波及効果</li> <li>・広い土地や物流機能による企業誘致</li> <li>・商業の経営安定化及び強化</li> <li>・商業活性化</li> <li>・創業の推進</li> <li>・中小企業の活性化</li> <li>・売れるモノづくり</li> <li>・企業の技術力向上</li> <li>・産学官の連携</li> <li>・オール釧路の連関 など</li> </ul>

人材育成 分科会	将来のまちのすがた (キーワード記載)	作業部会や全庁から提出された論点(抜粋)
	<p>ア ライフステージに応じた人材の育成</p> <p>イ 人材の確保</p> <p>ウ 働きたい人が働ける環境の推進</p> <p>エ 技術力を生かした経済協力の推進 世界に挑戦する人材の育成</p> <p>※ 下線については、分科会等での議論により追加されたもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材不足業種の魅力の発信</li> <li>・女性の創業支援</li> <li>・企業誘致の促進</li> <li>・若者が活躍する環境</li> <li>・観光客へのおもてなし</li> <li>・確かな学力の向上</li> <li>・インターンシップ(職場体験)</li> <li>・交流拡大のための人材育成</li> <li>・介護を支える人材の育成</li> <li>・保育士などの有資格者の養成</li> <li>・新規就農者支援・酪農研修</li> <li>・漁業後継者への支援</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふき紙技術の継承</li> <li>・子どもの成長を支える環境</li> <li>・若年者・女性・障がい者の就労促進</li> <li>・新規大卒生への地元就職働きかけ</li> <li>・UIJターンの推進</li> <li>・ひとり親家庭への就労支援</li> <li>・生活保護受給者の自立支援</li> <li>・石炭研修事業の継続</li> <li>・水産加工振興センターによる人材育成</li> <li>・インターネット通販サイトへの出店支援</li> <li>・生活習慣病予防の推進</li> <li>・海外に向けた専門的人材の育成 など</li> </ul>

都市機能向上 分科会	将来のまちのすがた (キーワード記載)	作業部会や全庁から提出された論点(抜粋)
	<p>ア ひがし北海道の生産拠点性の向上</p> <p>イ 定住に向けた機能の充実 ひがし北海道の交流拠点性の向上</p> <p>※ 下線については、分科会等での議論により追加されたもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路・港湾・空港の整備</li> <li>・外国人観光客受け入れ整備</li> <li>・試験研究機関の整備</li> <li>・水産加工などの技術向上</li> <li>・地域間連携の推進</li> <li>・都心部の賑わい創出</li> <li>・1次産業の生産基盤の安定化</li> <li>・水産業の経営基盤の安定化</li> <li>・ストレスフリー環境の整備</li> <li>・港湾利活用促進</li> <li>・企業立地の推進</li> <li>・災害時の生産機能の維持</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェリー・クルーズ船誘致</li> <li>・世界との交流促進</li> <li>・コンパクトなまちづくりの推進</li> <li>・広域連携による観光圏の構築</li> <li>・国際定期便の就航促進</li> <li>・農地・漁港・森林の整備</li> <li>・地域公共交通の再編</li> <li>・CIQとの協議・要請活動</li> <li>・釧路港の北極海航路活用</li> <li>・北海道横断自動車道の整備促進</li> <li>・鉄道網の維持・確保</li> <li>・定住自立圏構想 など</li> </ul>

重点戦略作業部会案

全庁での確認作業

「経済活性化」施策	<p>a 地域経済を発展させる基盤をつくるために、地域資源を守り、生かし、魅力を高めていきます。</p> <p>b 地元企業の活性化に向けて支援を行うとともに、市民や企業が地域内での人・モノ・金・情報の相互活用を深めることで、域内循環を推進していきます。</p> <p>c 長期滞在者や外国人旅行者などによる国内外からの交流人口の増加や消費の拡大を図るため、効果的な情報発信を行うとともに、地域ならではの自然・気候・食などの魅力を生かした取り組みを進めます。</p> <p>d 他の地域との差別化や、ニーズの把握などの取り組みにより、「売れるモノづくり」や、販路の拡大を支援することで外から稼ぐ力を強化します。</p> <p>e さらに生産性の向上、付加価値の向上を図るために、ものづくりの技術力を高める支援を進めます。</p> <p>f 自然資源、地元企業が有するものづくり技術、物流機能などの本市の強みを生かした企業誘致を進め、産業の活性化を目指します。</p> <p>g 情報技術による新たな産業間連携など、同業種、異業種による域内の連関力の強化を図りながら、地域産業の創発を促します。</p>
	<p>a 地場産品の活用による食育や職業体験、地域教育の推進などにより、子どもから大人までが本市に愛着や誇りを持つことができる取り組みを進めます。</p> <p>b 地元企業の事業拡大に対する支援、創業の支援、あるいは企業誘致の推進により就業機会を増やすとともに、これから働く人達に地域に根ざした仕事の魅力を広く伝えていく取り組みを進めます。</p> <p>c 地域経済を持続的に支えるため、試験研究機関や高等教育機関をはじめ、専門的知識・資格を持った人材の活用により、農林水産業の担い手や、ものづくりに携わる技術者、経営者などの育成を進めます。</p> <p>d 若年者、女性、障がいのある方などさまざまな求職者の就労を支援するとともに、アクティブシニアが持つ豊富な知識・経験の活用を進めます。</p> <p>e 経済的困難を抱えた方の就労自立のため、居場所づくりから就労支援までの取り組みを進めます。</p> <p>f 水産資源や石炭、冷涼な気候などを本市の強みとして生かし、経済面での国際協力につながる人材の受け入れを支えます。また、そうした強みを生かしながら、海外でも通用する能力を持ち、活躍できる人材の育成を進めます。</p>
	<p>a 地域経済を支える産業の持続的発展のため、地域の優位性を生かす視点をもって生産基盤の整備を推進します。</p> <p>b 地域資源の高付加価値化と生産技術の向上によって、外から稼ぐ力を支えるため、産業支援体制を整備します。</p> <p>c 地域間連携や拠点都市機能を強め、域外からの消費を呼び込むために、陸海空の交通ネットワークの充実を図り、人流・物流の活性化を支えます。</p> <p>d 定住自立圏構想における「中心市」として、医療など住民生活を支える機能や経済活動を支える都市機能を整備し、定住や交流の促進などにより、圏域の活性化に取り組みます。</p> <p>e ひがし北海道の観光拠点として、広域的な連携を強化し、それぞれの魅力を相互に補完することで、国内はもとより世界から訪れる旅行者の多様なニーズに対応した取り組みを進めます。</p> <p>f 世界に通用する交流拠点として、本市を訪れる外国人が快適かつ安全安心に滞在できるよう、ユニバーサルデザインの導入及びストレスフリー環境の整備に取り組みます。</p> <p>g ひがし北海道の中核都市として、釧路駅周辺を含む都心部の拠点機能の充実と賑わい創出に取り組みます。</p>